



アドビシステムズ株式会社が Adobe® After Effects® 4.0 日本語版を発表

タイタニックやウルトラマンシリーズで使用されているモーショングラフィックスとビジュアルエフェクトの統合的な映像コンテンツ制作ツール

【1999年2月8日】

アドビシステムズ株式会社(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長:ジェシー ヤング)は、本日、同社のダイナミックメディアソリューションの最新バージョン、Adobe After Effects (アドビアフターエフェツ) 4.0日本語版と、さらに高度な機能を備えた上位製品である Adobe After Effects 4.0 ProVersion (プロバージョン)日本語版をそれぞれ発売すると発表しました。

標準希望小売価格は、Adobe After Effects 4.0 日本語版が 138,000 円 (税抜)、Adobe After Effects 4.0 ProVersion 日本語版が 288,000 円 (税抜) です。発売時期は 1999 年 4 月下旬を予定しています。なお、両製品とも、After Effects 1.0 以降の正規登録ユーザに対しては、30,000 円 (税抜) で 4.0 へのアップグレードパッケージが提供されます。また、After Effects 1.0 以降の製品をお持ちの登録ユーザが After Effects 4.0 ProVersion へのアップグレードを希望する場合は、170,000 円 (税抜) で ProVersion へのアップグレードパッケージが提供されます。但し、店頭発売開始から 90 日間は、特別提供価格 100,000 円で After Effects 4.0 ProVersion へのアップグレードが可能です。

Adobe After Effects は、数年前からフィルムやビデオを中心として、ゲームや CD-ROM などのマルチメディアタイトル、Web などの様々なメディアへプロフェッショナルクオリティの作品を制作するツールとして、モーショングラフィックスやビジュアルエフェクトのデザイナーから高い評価を得てきました。タイタニックやスターシップトゥルーパーズ、Dr.ドリトル、ディープ・ライジングなどの超大作映画も After Effects を使って制作されています。

今日発表される After Effects 4.0 では、他のアドビシステムズ社製品との連動性をさらに強化し、クリエイティブコントロールを拡張、生産性をさらに向上させました。安定性が高く、豊富な機能をもつアプリケーションソフトウェアとして、After Effects の伝統を受け継いでいます。

コンポジション (合成) や特殊効果に代表される、ビジュアルエフェクトの技法は、常に



ダイナミックメディアを先導してきましたが、After Effects 4.0では、ソフトウェアの操作をより効率的に実行できよう改良されています。また、より簡単に「動き」の要素を与えられるようにデザインされているため、伝統的なグラフィックデザイナーのビジネス領域をさらに広げることができます。これまでに制作してきた作品の別の媒体での二次的な利用、たとえば、ポスターにモーションエフェクトを与えることで、イベントやWebでのコンテンツとして使用することができます。After Effects 4.0による、迅速かつ簡単なグラフィックデザインのアニメーション化の機能は、こうした場面でも重要な意味を持ちます。

他のアドビ製品との高い連動性

Adobe After Effects 4.0はAdobe® Photoshop®(アドビ フォトショッップ)、Adobe® Illustrator®(アドビ イラストレーター)、およびAdobe® Premiere®(アドビ プレミア)とシームレスに機能するため、コンテンツの再利用や、デザインにモーショングラフィックスを組み込むことが可能になります。他のアドビ製品と密接に連動することによって、ダイナミックメディアコンテンツをより速く、より効率的に制作することができます。

After Effects 4.0における新しい機能の一つとして、Adobe Photoshop5.0までの調整レイヤー、レイヤー効果、すべての描画モードのサポートがあげられます。これらは、After Effects の以前のバージョンでも実現されていた、Adobe Photoshop ファイルをコンポジションとして読み込める機能が拡張されたものです。Adobe Illustrator ファイルをAfter Effects 4.0プロジェクトへコンポジションとして読み込むときに、レイヤー情報が保持されるようになりました。さらに、Adobe IllustratorとAdobe Photoshopで、ベジェで描いたパスを、After Effects 4.0のマスクとして使用できるようになりました。Adobe Premiereプロジェクトを読み込むと、タイムレイアウトウィンドウのトラック上に配置されていたクリップが、After Effects 4.0のそれぞれのレイヤーに適切な順序で配置されます。

「レイヤー化されたPhotoshopファイルやIllustratorファイルをインポートできるのは、すばらしい機能だ。」と国際的なデザインおよびテレビ製作会社である、CuriousPicture社のシニアコンポーザーのBoo Wong氏は語っています。「Photoshop、Illustrator、そしてAfter Effects が緊密になればなるほど、より効率的に作業を行うことができます。」

また、Adobe After Effects 4.0では、安定性の高いマスク機能、効率的な調整レイヤー、パワフルな新しいビデオエフェクトとオーディオエフェクト、さらに強化・追加されているいくつかの新機能によって、クリエイティブなコントロールが拡張されています。たとえば、1つのレイヤーに対して、最大128個までのマスクを適用できるようになり、複数のマスクの重なった部分の処理やある一部分だけの変形が可能です。Illustratorと同様の塗



りや線を適用や、以前のバージョンと同様に、それらを徐々にアニメートさせることができます。また、調整レイヤーを作成して、複数のレイヤーに対して効果を一度に適用することもできます。

After Effects 4.0における新しい高度なビジュアルエフェクトとしては、新しいワーピング効果とシミュレーション効果があります。これらのエフェクトは、85種類を超える標準的なエフェクトとともに、限りなく幅の広い、クリエイティブな効果の可能性を提供します。多くのエフェクトを組み合わせることで、アニメーションのオプションは、実際上無限ともいえます。

「うちのオフィスのすべてのアーティストは、毎日のようにAfter Effectsを使用しています」とロサンゼルスにある Banned from the Ranch Entertainment 社のクリエイティブディレクターの Van Ling 氏は語っています。「After Effects では、非常に大きなクリエイティブコントロールを駆使することができるため、アーティストは、例えばコンポザー、マッチムーバー、ロトスコープアーティスト、またはアニメーターとしてだけといったように、ひとつの職種に制約されて仕事を区切られることがなくなりました。Adobe After Effects は、オフィスのみならず最高にクリエイティブになるように、われわれを解放してくれました。」

After Effects を使用している Banned from the Ranch Entertainment 社のアーティストによる、代表的なクリエイティブ作品としては、タイタニックやスターシップトゥルーパーズ、Dr. ドリトル、ディープ・ライジングなどの超大作映画があります。こうした、大スペクタクル映画にビジュアルエフェクトを駆使する彼らは次のようにも語っています。「スピード、使いやすさ、そして創造力から、After Effects は、我々の頼れるツールになりました。」

よりスピーディな結果を生み出す生産性の向上

After Effects 4.0のワークフロースピードの向上と、改良されたフレームキャッシング機能は、全体的な使用感を向上しています。新しいRAM プレビュー機能では、HDD にレンダリングすることなく、コンポジションの実際の結果をリアルタイムでプレイバックすることができます。加えて、すべてのワークエリアがタブ付きウィンドウとして表示され、インタフェイスがさらに効率的になりました。おなじみのペンツールや共通のキーボードショートカット、タブ付きパレット、そしてアドビの高い評価を得ている製品ファミリーと共通したその他の機能によって、生産性がさらに向上しています。



Adobe After Effects 4.0 ProVersion 日本語版

After Effects 4.0 は、モーショングラフィックスとビジュアルエフェクトという、2種類の用途をメインの対象として考えています。これらの多少異なるニーズをサポートし、After Effects が各セグメントでの要望に、広い範囲で対応するために、After Effects 4.0 は、標準の製品とその上位製品にあたる ProVersion という2種類のパッケージを提供しています。ProVersion には、標準の製品に含まれるすべての機能に加えて、新しいワーピング効果（ベジェワープ、メッシュワープ、リシェイプ）そして、ビジュアルエフェクトのプロフェッショナル向けに、さらに精度の高いコントロールを提供する、モーションコントロールとキーイングの機能のパワフルなセットが装備されています。パーティクルプレイグラウンドは、パーティクル（粒子）のシミュレーションはもちろん、ハチの群れ、落ちる葉、あるいは爆発するテキストなど、リアリスティックな群集的なシミュレーション効果の作成を可能にする、ProVersion に含まれる新しいビジュアルエフェクトです。6種類の新しいオーディオエフェクトも、Adobe After Effects 4.0 ProVersion に装備されています。

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）は、1982年に創設され、米カリフォルニア州サンノゼの本社を拠点に活動を展開しています。アドビシステムズ社は、印刷・出版およびイメージングソフトウェアテクノロジーのリーディングカンパニーであり、年商10億ドル近くに達する世界第二位のデスクトップPCソフトウェア会社です。プロの印刷・出版業者、Webおよびグラフィックデザイナー、ドキュメントを多用する組織およびビジネスユーザ、そして個人ユーザ向けに定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供しています。アドビの製品は、ユーザが視覚的にすばらしいイメージとドキュメントを、すべての紙および電子メディアにおいて創造し、出版し、配信することを可能にします。アドビシステムズ社は全世界で2,700人以上の社員で構成され、北米、欧州、環アジア太平洋地域、日本そしてラテンアメリカ地域で事業を展開しています。アドビシステムズ株式会社のWebサイトは<http://www.adobe.co.jp>です。

<お問い合わせ先>

アドビシステムズ株式会社

電話：03-5423-1860